京城新聞

●赤十字社要項

一日本赤十字社の沿革は明治十年西南役に際し戦地の傷病者を救療愛護するの目的を以て創立せるものにして博愛社と名けし當時征討總督府の允許を得て實地に就き軍醫部を補助せり役訖るの後之を永設の一社とし平時務めて諸般の準備をなし有事の日救護のことに從ふを期せしが明治十九年我政府ヂュネーブ條約に加盟せられしを以て本社も亦益其基礎を鞏固にし事業を擴張せんことを決し明治二十年社名を日本赤十字社と改稱し社則を更定し進でヂュネーブ萬國赤十字中央の委員と交渉し同盟國の諸社と聯結せり明治二十七八年の戦役及三十七八年の戦役に於ては救護員を内外各地に派遣し彼我の傷病者を救護したり

一本社の目的は戦地の傷病者を救護するの外天災又は事變ある場合に於ける傷病者をも救護するにあり

一本社は

天皇陛下　皇后陛下の至貴至高なる保護を受く

一本社の社員は正社員、特別社員、名譽社員の三種とし正社員は一ヶ年參圓以上拾貳圓以下を十ヶ年間納むるもの及一時金貳拾五圓以上を納むるものにして特別社員は貳百圓以上を寄附したるもの又は功勞者にして常議會の議決に依り相當と認めたるものとす而して正社員には正社員章を特別社員には特別社員章を附與す

名譽社員は常議會の議決に因り名譽社員に相當と認められたるものとす

一有功章は本社の爲め特殊の功勞ある者及び金千圓以上を寄附したるものに授與す

有功章を附與せんとする者あるときは其功勞を録し常議會の議決を經總裁より宮内大臣に具し上奏裁可を得て之を附與す

一本社總裁には閑院宮載仁親王殿下を推戴し社長は伯爵松方正義君副社長は子爵花房義質男爵小澤武雄兩君なり

一韓國委員部に於ては四十一年四月委員部規則を改正し總委員部を統監府所在地に委員部を理事廳及觀察府所在地に置けり

一韓國總委員部は管轄内に在留する本社救護員を監督し管内に天災事變の爲め救護實施の場合には必要に應し之を使用することを得るのみならず社長の承認を經て患者救護等の事業を實施することを得

一韓國總委員部管轄内現在社員の總數は八千八百二十四名にして其内譯左の如し

日本人　七千八百九十三名
韓國人　八百五十八名
清國其他外國人　七十三名

一韓國　皇帝陛下　太皇帝陛下には明治三十九年十月男爵小澤副社長入京參内の際名譽社員章を捧呈せしに嘉納せられたり

日本　皇太子殿下には明治四十年十月御渡韓の際韓國に於ける社業擴張基金に充つるの思召を以て特に金千圓を下賜せられたり

日本赤十字社韓國總委員部
（京城統監府内）

●登録に關する出願心得（續き）

一特許の意義　特許とは工業上の物品又は方法に關し最先の發明を爲したる者に對し其發明より生ずる利益を獨占せしむる爲め與へられたる權利なり故に此權利を得たる者は十五年間其發明にかゝる物品を製造販賣、使用擴布し又は其方法を使用擴布することを得他人の特許を得たる者より其權利を讓受くるか又は其承諾を得るにあらざれば之を製造販賣使用、擴布することを得ず而して此權利によりて保護せらるべき發明の如何なるものなるやは次に述ぶべし

二、特許を受くる事を得る發明　工業上の物品又は方法に關する最先の發明は特許を受くることを得即ち工業に關係ある物品又は方法例へば製品機械製造方法等に關する創造的工夫にして未だ何人も發明したることなき最先の新工夫は即ち特許を受くることを得べき發明なり

三、特許を受くることを得ざる發明　前記の發明の物も左の各項に該當するものは特許を受くる事を得ず蓋し公益治安衞生等に害あるを以てなり

イ、飲食物嗜好物（其製出方法は此限にあらず）

ロ、醫藥（其製出方法は此限にあらず）又は其調合法

ハ、國家の治安に害あるもの又は風俗を擾亂する恐あるもの

ニ、出願前に於て既に其出願の發明が韓國内に知られ又は用ひられたるもの但し試驗の爲め出願前二ヶ年以内に知られたるものは此限にあらず

四、特許を受くることを得る人　發明者又は其相續人又は權利を讓受けたるものにして日韓米の三國民及日韓兩國の國民に對し發明に付同權の保護を與へ且韓國に於て發明の保護に關し治外法權を行使せざる國の臣民及人民なるに於ては何人と雖も特許を受くることを得

五、特許出願の手續

（甲）特許を出願するには先づ一發明毎に左の書式に從ひ願書を作り之に明細書及必要の圖面を添へて特許局長に願出べし

イ、特許願には出願手數料として五圓に相當する收入印紙を貼付すべし

收入印紙五圓

特許願

一、發明の名稱
一、發明完成の年月日
發明者の氏名、住所及職業（本項は出願人が發明者なるときは記載することを要せず）
私（私共）儀別紙明細書に記載する物品（方法）に付き特許相受度此段相願候也
本籍
住所（職業）
年月日　氏名　印
統監府特許局長氏名殿

▲他人の特許發明を利用して爲したる發明には特許を出願することを得其出願は利用發明特許願として願書を作り之に明細書及び必要の圖面を添へ出願手數料として五圓に相當する收入印紙を貼付して差出すべし（未完）

讀者文壇

南軒

●間男、間女

譬へば男女の仲は、鐵道の如く、若くば赤と黑のぺんの如く、近付きて何犯す可からざる區劃がなければならぬ、然るにチョイと黑ぺんが赤インキを侵し、本線に入るべき列車が複線に飛び込むのは即ち手綱等しきポイントを取り誤り、熱した腦が常識を沒するからで、姦夫、姦女は多く此の理の外に出でぬ。

●命よりも金

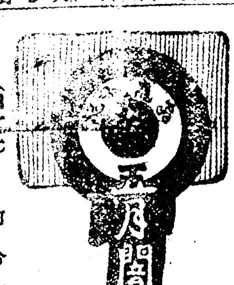
サア撲るなら撲れ、斬るなら斬れ、刺くなら刺け、殺すなら殺せ……ペランメー……三兩貸さチーか。

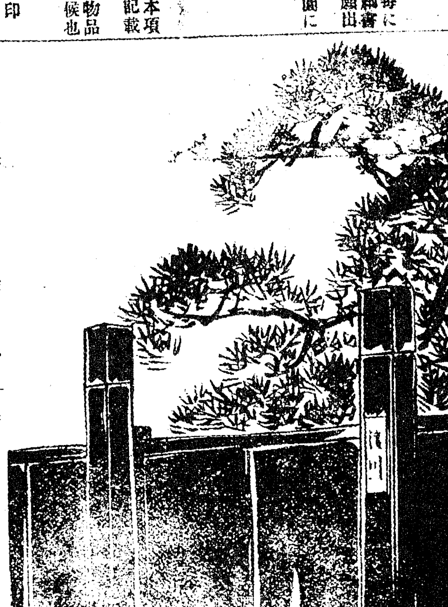
俳句

白露吟集

七印

菊植ゑて孤獨に安す御家人　香霧
發心の男なりしが新酒かな　田柿
翠殿の醉様見たり今年酒　梅子
行暮し宿の新酒や姥ごゝろ　可醉
渡鳥や地藏の森に群れ騒ぐ　龍水
毛見のまた知らぬ田有畔の傍　湖東
毛見衆に不即不離なる助言哉　田柿
末枯るゝ京の小道や詫住居　梅子
別杯や露の雨時の村はづれ　同
漸寒に硯を洗ふ庵の主　松花
やゝ寒や蠹も止めぬ四疊半　同





（四十二）　河合柳葉

れ君が皇室候補の側妻に上るべき約束の日は早くも來つて突然明日た君と見めて

終夜煩悶して眠られなかつた如く、昨夜は又今日と云ふ愉快が頭腦を支配して終夜マンジリともせず、午前の四時の時計が鳴ると床を離れて、暫く庭内を散歩して新鮮の空氣を呼吸し、やがて朝餉を了るを俥を命して理髮所に赴いて理髮をなさしめ、夫れより入浴して旅館に歸ると、衣紋を改めて、今や遲しとれ君の來るを首を伸して待ち受けて居た。

最早や八時を過ぎ、九時をも打たんとする時刻になつても、また來ない、爲雅は堪へられなくなつたものか、次に控えた大山を召して、

「ね、山川は確か八時過に來と云つたね。」

「はい、確か左様申しましてございます。」

「もう何時だ、八時は先刻打つたやうに思ふが。」

大山は懐中時計を出して些と眺め、

「御意でございます、もう十五分で九時でございます。」

「それに今に來んと云ふは奈何したのだらう、午前の八時と午後の八時と思違ひを爲たのぢやあるまいね。」

「確かに午前八時過ぎと申しましたから、豈夫左樣な事はあるまいかと存じます。」

「しからば、今朝になつて何か差障の事でも出來したのぢやあるまいか。」

「左樣な事は萬々あるまいかと存じます、何故かならば、若も故障でも出來ましたなれば、早速其趣きをれ館に參る筈でございます。しかるに何の沙汰も致さない所を以て見ますると、故障などの出來た譯ぢやございませんが、何を申しましても御婦人の事でございますから、御支度だの何だのと種々御用の多いものでございますゆゑ、必然那樣事から遲くなつたかと存じます、いづれに致しましても今暫し待受けまして參りませんやうでございましたら、私がれ迎ひに參りまするでございます。」

「なる程、夫れも然うだね、女と云ふものは頭飾だとか化粧だとか、男と違つて種々間取るものだからね、早く來る積りでも猶毛遁ではつかも知れないね、では今暫く待つて見やう。」

「今暫くれ待ち遊ばしますと、必ず來る事と心得まする。」

「時に料理などの事は總て準備が整ふて居るだらうね。」

「御意にございます、何時でも差支へないやうに申付けてございます。」

「雅數にも來るやうにと云つて置いたが、如何して來んか知ら。」

「君樣は、れ朝も遲いでございませうし、殊に御遠方で被仕いますゆゑ、奈何致しましてもれ遲くなりますでございませう。」

かゝる談話の中に、車の音賑はしく玄關の方に着いた樣子、

兩人は言合した如く聽耳を立てた。

間もなく女中が來て、山川の伺候した旨を告げた。

同時に大山は玄關に出迎へて、やがて設けの室の案内したが、此時のれ君の姿は、何と形容して宜いか、形容の詞に若しむばかりの美しさであつた。

廣告

漢城病院ヲ辭シ
本町二丁目四番戸（元岩田寫眞館）ノ跡ニテ耳鼻咽喉科眼科
外科花柳病ノ診療ヲナス
診療毎日自午前八時至夕
入院隨意赤貧者ハ施療ス
元漢城病院耳鼻咽喉科眼科主任
從七位醫學得業士　中村健吉

阪谷男歡迎會

歐米巡遊を了はられ歸途當地に立寄らる、前大藏大臣法學博士阪谷男爵の爲來十七日正午十二時日本人倶樂部に於て本協會の歡迎會を相開き候に就ては會員諸君は萬障御繰合御出席相成度謹で貴得意候也

追白會員外の御方にても當日出席御希望の向は來る十六日までに其旨日本人倶樂部内幹事へ御申込有之度候
會費金三圓當日御持參の事

韓國經濟協會
幹事長　市原盛宏



◉胃病は萬病の本なり

（獨國醫學博士ボアース氏の格言）

胃活錠とは胃活を加減して新藥を加へたる新式の錠劑也試よ

理想的
健胃劑

定價（胃活錠）一圓、六十五錢、四十五錢、廿五錢、十錢　（胃活）一圓、五十錢、廿錢

本舖　東京銀座一丁目山田安民藥房
大阪南久寶寺町貳丁目山田安民藥房
有名藥店にあり

●龍山支局設置●

今般漢江通三丁目に支局を設置し社員中村弘を特派して該地方に於ける通信營業等の事務を取扱はしめ候へば一層御愛讀之程奉願候

十月十六日
京城新聞社

●龍山支局設置●

運輸の要は殊に責任を重んじ誠實にして敏活なるに在り

今宗島運送店
永登浦驛前　電話一二番

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇度　年廿三才にして普通教育有商業の經驗も有會社又は通勤商店員に雇はれたし　姓名在社（五〇）

●被雇度　簿記學全科を修め銀行業に從事せし事十年銀行會社に雇はれたし　姓名在社（五二）

●女雇入　容貌普通十四才以上廿六歲以下女至急入用、依望、學問及琴曲を習得せしむ、給料面談南山町三の九六琴曲教場伊集

●毎日曜日を除き毎夜午後八時より懸賞に英語を教授す月謝壹圓束脩を要せず　英學塾（五四）
の出町百十八番

●新聞社の校正係又は外交員を希望年三十五元刑事且つ活版事業に經驗ある者　姓名在社（五八）

●求婚　本年二十八月收八十圓血正体健十八九の良家の淑女と結婚したし　氏名在社（六七）

●外交係入用　市内保證人あるもの本人商接來談を乞ふ
南山町二の一七三農商工組合事務所（六七）

●弟子入用　但し十四五歲のもの　氏名在社（六八）

●求婚　年廿六血統正係累無月收五十圓以上容不問廿歲前後体健血正の女子と結婚したし　氏名在社（七〇）

京城又は附近にて豆粕の製造所又は販賣所あらば御知らせを乞ふ　氏名在社（七一）

●被雇度　朝九時より午後三時迄の間雇はれたし給金不望年十九保證人あり　氏名在社（七二）

熊本縣人　松田仁三郎氏　至急面會致したし　社内　矢

●當地に夜間八時頃より劍舞教授所あらば本欄まで御通知を乞ふ　エム生（七三）

●夜間自宅にて筆耕に從事す御依頼の方あらば御申越し次第參室の上委細承致すべし　姓名在社（七四）

（七三）エム生に答ふ長谷川町一丁目三〇番戸に來れ　エヌ生（七五）

廣島縣人　永山いし子　氏に逢ひたし　氏名在社（七六）

熊本縣人　市下確　氏の消息を知りたし　エヌ生（七七）

仲居入用　年齡十七年より廿五六年者至急一名入用但料理店に心得の有る者なれば尚宜し　大和町一江戸善（七九）

物件部

●雲母產地　至急買入たし　氏名在社（六六）

●從來開業中の處突然歸國の不得已に付醫療機械藥品及び患者付の儘にて至急讓渡したし　姓名在社（四七）

●古本　買入れたし　本町七丁目　秋田屋（四九）

●蓄音機　讓たし但附屬品付二個あり　社内　坂

電話　至急買たし　社内島村（五七）

●貸地　古市町韓國畜產株式會社近傍約六十坪　古市町九番戸　小縣（五五）

●旭町一丁目通温突十五間地所附（但七十坪）安價に讓りたし　姓名在社（六十）

●貸家　六疊二間四疊半一間　高燥にて井水潔　永樂一　氏名在社（六二）

●貸間　本欄人事部に御答申すオントル一間疊貳枚敷餘り庭園尤雅にして閑靜詳細は御來談を乞　永樂町能國教會裏山田（六三）

古着道具買たし　本町七丁目一六號　貴（六四）

●賣地　旭町一丁目の山の手にて風景絶佳の土地家屋附にて讓りたし御望みの御方は御來談を乞ふ　姓名在社（七〇）

一本町より明治町に入三軒目空地三十坪付附の貸家あり　櫻井時計店（七八）

京城新聞

伊藤統監辭任の說

公は辭任せざるべし

伊藤統監の歸朝するや必ず辭任の風說傳はる、何が爲に斯る風說は傳はる乎、世人が伊藤公を以て統監たるに不適任なりと認むるの故なる乎、伊藤公の韓國本位韓人懐柔策を以て非なりとするに依る乎、或は伊藤公にては全然帝國の對韓政策を誤るものとなすが故なる乎、將た此等の思想を一括して伊藤公を辭退せしめ更に他に適當の人物を統監たらしめんとする思想の反響して風說を生むに非ざる乎、要するに世人が伊藤公を以て眞に適任なりと思はゞ斯る風說は決して起るべきものに非らず、少くとも世論の一部に排伊藤の氣勢あるが爲に起り來るものとするも敢て苛論と云ふべからず實際歸朝毎に辭任說の傳はるは甚だ奇なり今次の歸朝中に於ても例に依りて絶へず辭任說は傳はる、昨今に於ては更に事實らしく傳へらるゝに至れり、最初は山縣系が公を樞密院議長に祭り込み、曾禰子を以て統監となし全く韓國に於ける伊藤公の勢力を殺ぎ、山縣系の勢力を韓國に扶植せん云々と盛に唱へられたりき、此等は唯風說のみに非ず多少其事實ありたるものゝ如し、然るに伊藤公は山縣系の計畫を看破したる爲に其裏を掻き韓國の治外法權撤去問題を楯とし、樞密院議長たるを拒みたり云々との說もありき、是も亦多少の事實ありたる者の如し、昨今起れる公の辭任說も略ぼ同一にして唯其後任を寺內陸相を以てすると云へるに過ぎず、伊藤公の身邊屢々斯る風說の生ずるは山縣系統が公の優柔政策に對し緩慢を感ずるこそ世論も亦之に傾けるが爲ならずんばあらず、之を直言すれば世人が伊藤公の優柔政策に倦怠したるの反響ならん、若し夫れ世論が一齊に公を以て無二の適任者と見做さば斯る風說は起るべきものに非らず、從令起るとするも世論は之を否定せんとするなり、然るに公の辭任說の傳はる毎に世論は之を歡迎するの傾向なきに非ず、嗚呼公は全く適任ならざる乎、公の如く經歷を有し最高の偉勳を有し、東洋の大政治家を以て人も許し自己も亦許すにも拘らず、斯の如く世論の公を重んせるは何が爲なる乎、之れ公が對韓經營の方針を誤れるに基因するに非ざる乎、

伊藤公は果して風說の如く辭任すべき乎、余輩は公の性格を想到して其然らざるを思ふ、公に辭任の意あることは明かなりと雖も、公の功名心は其意を直に斷行することを能はざるなり、殊に一方に於て自己を祭込む杯の風說あるに於ては之に反撥するは公の特質なり、公は虚榮心の强盛なるだけ其出所進退に注意を拂ふことは極て愼重なり如何に辭任の意ありとも最良の機會を捉へざれば之を決行せざるなり、公は最良の機會を得んとして頻に焦慮しつゝあるなり然れども公は斷行の勇を缺けるが爲に機會ぞ逸することも尠からず而して山縣系の祭込策の如き風說あるに於ては倚更に辭意を翻し最良の機會を俟つに至るや必せり、

余輩を以て之を見れば伊藤公の敵は山縣系に非らず、亦世論にも非ず、公自身の對韓經營方針の誤なり、若し夫れ公にして憤起一番英斷一擲局面を展開せしめ、大陸經營進展の基礎を建てらるゝに於ては世論は擧て公の味方たらん、最良の機會は公の快腕一擲を今將さに待ちつゝあり、

東京電報

▲地方長官會議

今日の地方長官會議は大浦岡部小松原三大臣の訓示あり

▲東京市の人口

市勢調査の結果東京市の人口は百五十八萬七千人と決す(以上十五日發)

▲豫算と閣議

明年度豫算は昨日其の大体を決し明日の閣議にて各項目に渉り決議す

▲債券發行と保證

議會の協贊を經たる豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要するの件(興業銀行にて韓國政府に貸し付けの爲め債券發行の際政府之を保證するの件)裁可公布せらる

▲米艦隊入港期

明日横濱入港の筈なりしも米國艦隊は風浪の爲め十八日入港のことゝなれりと

▲地方官會議と訓示

地方長官會議は今日外相の訓示あり其の内容は機密に亘り發表せられず(以上十六日發)

雜報

●副統監帶同謁見

曾禰副統監は本十七日午前十一時より男爵阪谷芳郎、第六師團長陸軍中將男爵西島助義、一等主計正是信亮、步兵大佐五十嵐弘太郎、步兵大佐佐藤兼毅、一等軍醫正北村徐雲、工兵少佐稻井彥四郎、三等主計正橋元勝遠、三等軍醫正田口以文、三等獸醫正內藤銅次郎、理事橫井時儀、步兵大尉武島嘉三郎、步兵中尉甲斐恒彥の諸氏を帶同參內せられ韓皇帝に謁見せらる

●伊藤統監の意動く

山縣派の裏を掻きて容易に動く氣色なかりし伊藤統監も表面こそ得意の狀あれ、內實韓國官民の仕打に持餘すことのみ多く、今の內に甘く引上ぐる方針を完うするの途なるを自覺し最後の一幕は他に讓るべしとの意を左右に漏らしたることあり、唯伊藤統監の執り來りし方針と山縣一派の對韓政策との間には著しき逕庭あり、統監勇退後急に其方針政策を變化せらるゝがごときことありては伊藤公の面目威信にも關する故公は之に就て適當なる調和を得んと焦慮しつゝあるが如し、而して伊藤公愈よ勇退と決せば曾禰子も同時に副統監の地位を去ると既報の如く陸内陸相統監の任を襲ふべしとの說高し

●昨日の阪谷男爵

阪谷男爵には日程の通り昨十六日午前八時馬車にて天眞樓を發し荒井次官鈴木司稅局長の案內にて八時二十分舊度支部財務監督局に臨まれ、始めに監督局各室の執務振を一覽せられ、次に建築所に於て坂田技師の說明を聞きつゝ稅關工事其他の設計圖面等を仔細に觀覽せられ、夫より同倉庫に於て久芳會計課長の說明を聞きつゝ有名なる翼珠軍扇玉童其他の寶物を一覽せられたり、久芳技師の說明によれば右寶物は舊度支部の一倉庫內に二百年戶扉を開かずして藏せられたるものゝ由なり阪谷男には寶物中の一なる扁額に英宗皇帝の筆「均貢愛民、節用蓄力」なる句に大なる興味を持たれたり

新度支部其外に於て

九時二十五分より阪谷男には新度支部に臨まれ任大臣と懇談數刻の後會計檢查局、臨時財源調查局、臨時財產整理局等を一覽せられ了つて關稅局に行かれ永濱總長の案內により各室を測覽せられ十時十分同局を辭され鐵道管理局を訪問し終て南大門稅關出張所に立寄られ保稅倉庫其他の設備を見て大に賞贊せられ夫より馬車を驅つて龍山印刷局に向はれたり

龍山印刷局に於て

十時五十分印刷局着鹽谷高木兩事務官の先導により各部印刷室を一覽の後製紙部に行かれ同部一覽の後紀念撮影を爲したり、因に男には曾禰副統監の發意に係るラミー紙製造は大に有望なるべしと言われたりと云ふ

中央金庫溶解部に於て

阪谷男には製紙場一覽の後中央金庫溶解部に移られ白銅貨、葉錢切斷の狀を一覽せられ來賓室に於て少憩任度支部大臣より贈呈の韓國古今各貨幣の見本一箱を受領せられ後倉庫に於て切斷白銅貨の袋入にて積重ねたるを一覽せられ微笑せらく露西亞ならば此袋入は皆金貨なるべしと

八景園に於て

十二時十分八景園に着第一銀行にて用意せる晝餐を荒井次官鈴木局長印刷局高等官及各隨行員と共に採られ暫時休憩せらる、食後男爵には左の如く口吟せる

上 八道の八景園で飯を九い 男爵
下 八ツ十れなかの六四があん四ん 峯岸

右は數字讀込の六ヶ敷ものなり

麻浦煉瓦製造所に於て

男爵には一時四十分麻浦煉瓦製造所に着され直ちに奧村事務官の先導により工場を仔細に巡覽せられ、盃早饒の狀を一見せられたる後休憩接室に於て荒井鈴木兩氏其他と花瓶に字句を認められ殊に目賀田男に贈らるべき花瓶には諸氏と共に署名せられたり、玆にてまた所員の請に因り紀念撮影をせられ三時二十分同所を去り新軍司令部通りを經て荒井次官邸に赴かれたり、之より先き中村臨時宗匠に一吟あり、

阪谷のあたまで目賀田腹をきめ
あとは荒井の腕に度支部

荒井次官園遊會

男爵には龍山より歸らるると同時に荒井次官の園遊會に臨まれたり園內は國旗幔幕菊花等を以て頗る奇麗に裝飾せらる、男爵の臨場と共に陪賓一同整列して紀念撮影を爲し了つて奏樂と共に食堂は開かれ荒井次官の挨拶男爵の答辭あり了つて暫時食事の後杯を擧げて男爵の健康を祝し談笑湧くが如く歡樂を極めたる後午後九時散會と共に男爵には隨行員を率ひ無事天眞樓に歸られたり

當日園遊會に出席せし諸氏は度支部各銀行及び大藏省關係の人々にて其重なる者は男爵の外永濱關稅總長、鈴木司稅局長、木村、三島の第一支配人、高橋興銀支配人、柳理財局長、朴度支部大臣代理、宮木仁川稅關長、白完赫、趙鎭泰等の各韓銀行家其他日韓人二百餘名なりしと云ふ

●統監邸の晩餐會

曾禰副統監は一昨夜統監官邸に於て阪谷男爵を主賓として長谷川軍司令官統監府各高等官數十名を招待し盛んなる晩餐會を開かれたり

●阪谷男の下仁

阪谷男は明日午後二時南大門發列車にて下仁し三時二十八分仁川に着し信夫理事官富田民長、顯原會頭の案內にて市中を巡覽し午後四時民役所樓上の經濟會に於いて一場の講話をなし六時より仁川俱樂部の歡迎會に臨みて後同八時仁川發列車にて歸京せらる由

●韓人の土地出資に就て

東洋拓殖株式會社定款を通覽するに韓國政府土地出資の外韓人が土地を出資して株式を引き受くる事に關する條項無し右は初め定款中に規定せらるゝ筈なりしも果して會社が希望する條件に適合する土地所有者有りや否や若しありとするも果して出資するや否や明かならざるを以て會社の資本たるべき土地は先づ韓國政府より驛屯土を出資せしめ韓國人にして土地出資を希望する者には右の驛屯土に代へて韓國政府の引受株を讓らしむる事としたるものなりと云ふ故に韓國側は同會社株式を政府の引受株丈け即ち田畓各五千七百町步に相當する六萬株は優先して所有するを得るの結果となりたり今韓人の出資し得べき土地に關する會社の內規は左の如しと云ふ

一、出資すべき土地は韓國に於て現に收益ありて出資者は適法に所有し且其の所有權を證明する事を得るものにして他の物件を負擔せざるものに限る

一、前項の土地は尠くとも一口凡五百町步以上にして凡五十韓里(日本里五里)四方內に纏りたることを要す

一、出資土地の評價は最近五ヶ年間地主の收納せる純益平均一ヶ年分の二十倍を以て標準とす但し其の純益は小作料より公租及必要なる經費を除きたるものとし出資者は右純益を證明するに足るべき書類を提出することを要す

一、提供土地中第一回拂込に充用せる殘部に對しては契約に依り會社之を使用し第二回以後順次拂込に充用する迄會社は三ヶ年間從來の平均純益即ち評價額百分の五を三年以後は每年百分の六の地代を支拂ふものとす

一、出資土地の小作者は會社に於て更に契約をなし繼續使用するものとす

●通譯官補採用試驗

既報法部にて執行する通譯官補は各裁判所に任用せらるべきものにして採用人員は約十名試驗科目は韓語通譯韓文繙譯等なりと

●六師團本部の所在地

今回韓國守備の任に當りたる第六師團渡韓後に於ける各本部の所在地は左の如し

第六師團司令部	龍山
步兵第十一旅團司令部	平壤
同第三十六旅團司令部	北靑
同第十三聯隊本部	龍山
同第二十三聯隊本部	平壤
同第六十四聯隊本部	北靑

●松平理事の臨場

來る卅一日慶熙宮に開催せらるゝ赤十字社總會には本社理事貴族院議員子爵松平乘承氏特に總裁閑院宮殿下の御諭旨を奉じて臨場せらるゝ筈なるが同氏は故伯爵佐野社長と共に明治十年博愛社創立者の一人にして歐米各赤十字社と連伍の砌り第一着に本社委員として萬國赤十字總會に參列し且つ日淸、北淸、日露の三戰役に於ける救護事業には常に樞要の地位に在りて救護事業の活動に任ずる等社業には終始非常なる功績ある人なりと尚隨行者は主事吉安延太郎氏外書記一名なりと

●第十三師團の送別會

今回交代歸朝する第十三師團送別の爲に石塚總務長官代理池田通信管理局長岡內部次官大屋鐵道管理局長木內農商工部次官小宮宮內次官荒井度支部次官倉富法部次官俵學部次官三浦理事官熊谷民長中村再造の諸氏の發起にて來る廿日午後二時南山公園にて送別園遊會を催さるゝに付贊成出席の人は會費二圓を便宜發起人に於て其申込を受くる由なり

●民會議長問題

京城居留民會議員は既報の如く確定し來る二十一日午後五時より民會を召集し議長其他役員の撰擧を行ふ筈なるが當日の問題として注意すべきは議長問題にて記者の聞く所に依れば其候補者として革新派に於ては期成同盟會の中村再造氏を推さんとし同盟會の議員と交渉中にあり又た同盟會にては古城管堂氏を推さんとするものと和田常吉氏を推さんと云ふもの二派ありて目下運動中にて結局三氏の競爭となるべしと

●監査會提出案調査

仁川民團役所に於ては本月下旬統監府に於て開かるべき理事廳事務監査會議に提出すべき事件につき目下調査中

●軍部の幹部演習

來る十九日軍部の韓國將校十五六名は武官學校長參將李熙斗氏に引卒せられ水原地方に於て約四日間の豫定を以て幹部演習を行ふ筈にて宍戶步兵少佐軍事敎官として同行すべし

●共立新報發賣禁示

在桑港韓人の發行する共立新報第八十七號八十八號八十九號は治安に妨害ありと認められ昨朝內務大臣より發賣頒布を禁止されたり

●李總理の午餐會

總理大臣李完用氏は本日午前十二時貞洞ソンタク邸に於て各大臣及び中樞院顧問等を招待し午餐會を催す筈なり

●鍋島侯爵の出發

鍋島侯爵同夫人は昨日午前八時三十分釜山行の列車にて出發せり侯爵は下の關より乘船大連に向ふべし見送人は長谷川大將牟田少將其他文武官多數あり

●嚴柱益氏の渡日

祗候官嚴柱益氏は來る二十日韓太子の千秋節祝賀の爲め拾五日午前南大門發にて日本に向へり

●安達參事官の來韓

今回佛國大使館附參事官に赴任せらるべき安達峰一郎氏は滿韓視察の爲め十三日東京出發の途中釜山へ一泊の豫定にて入京せられ當地より滿州地方を經て更に歸東の上任地に出發せらるゝ由其筋より通報ありたり

●李總理の兼任

軍部大臣李秉武氏不在中は李首相軍部の事務を兼任す

●平賀博士の來朝期

既報韓國工業顧問平賀工學博士は去る十四日大阪を出發し福岡なる小供博覽會に臨み其の審查を親結了の上直ちに渡韓する旨內報ありたりと云ふ

●神野書記官の出張

神野法部書記官は中樞同主事と共に平壤義州地方の監獄事務視察のため出張を命ぜられ廿日頃出發の筈

●神野審查官の下仁

統監府特許局審查官補神野金之助氏は明日下仁し民役所に於て仁川戶口及職業別を調查したる後歸京

●奏樂堂落成式

京城樂友會の和將臺公園に建設せる音樂堂除幕式は愈來る十七日午後二時に擧行する事なるが當日は駐劄軍司令部及宮內府にても大に其の擧を贊し特に陸軍軍樂隊及宮內府音樂隊を派し奏樂することゝなれるを以て兩々其の研其の美を競ふべく又來賓及會員一同に紀念日附印を押捺する紀念繪葉書を配付し烟火數上紀念撮影等をなす計畫の由なれば定めし當日は盛會ならん又費用は一般特志家の寄附よりなると云ふ

公人私人

▲中西鎭三郎(大連陸軍倉庫三等主計)十五日入京天眞樓
▲本莊繁(在北京公使館附大尉)十五日入京浦尾旅館
▲太田善次郎(安東縣居留民團理事)十五日入京浦尾旅館
▲中大路正雄(木浦理事官)統監府へ打合せの爲め十五日入京城館
▲向田幸藏(平壤觀察府警察部長)十五日出發歸任
▲渡邊鷹次郎(警視廳警視)歸朝中の所十日夜歸任

●近事片々

▲黃昏 門外に杖を曳けば秋風蕭條の音さびしく天地も爲に沈むべく思はれて哀れ
▲新派 詩人歌ふ「こほろぎは寢も鳴なり大寺の圓き柱のひびわれにきて」秋狀颯然
▲枯野 原人の亡ぶる末つ世を目に見るものか寒き風吹く」と實に之れ郊外秋色の景
▲一進 會員殺害事件は東京に於ては大分問題となり居る者の如し世は案外の事多し
▲伊公 桂侯寺內子等が額を鳩めて密議したるも此一進會事件とは惜も恐縮の至り也
▲伊公 は殊の外驚きて損害賠償の事迄も矢釜しく論難されしとの事也果して事實乎
▲邦人 の殺害されたる者は未だ損害賠償の音沙汰も聞かざるに是は亦ドウ云ふ者乎
▲自己 の保護薄きを憾み軍隊の行動を妨害したる良民を威嚇する輩は討伐詮方なし
▲斯る 準暴徒然たる者の殺害に恐縮[illegible]損害賠償迄も持出すとは何たる輕擧なるぞ
▲曾禰 子の馬夯問題に對する行爲は思の外に世の物議を招きたり態度の愼重は肝要
▲伊桂 寺の鳩首密議には曾禰子行爲問題も持上られりとの說あり是或は事實ならん
▲此三 人者の密議は伊藤辭任寺內後任風說の源起の原因ならん乎モテ世の中は妙也
▲然る に此密議の大問題は一進會事件ならんとは李容九も思の外に外交的手腕あり
▲一進 會衰勢の挽回策は之に依りて多少目的を達し得らるべきか隨分苦肉の策なり
▲我軍 の規律嚴正なる決して良民を殺害するが如き事なし輕々に風說信ずべからず
▲伊公 は較もすれば韓人を信じ過る癖ありと聞けば玆大に愼重の態度を採るべき也
▲李容 九も亦口にのみ我軍を信賴すると云はず能く事實の調查を遂行するか專一也
▲之を なさずして無暗に大聲疾呼世に發表するとは怪しからぬ行動大に責むべき也
▲是を 好材料として會の衰運を挽回するに利用する杯は以ての外の仕打且憎むべし
▲進米 專大使唐紹儀帝國を訪はれ外務大臣邸の招待に臨席し演說す好箇の外交辭令
▲小村 外相亦懇切なる演說をなす之に依り日淸國交に多少の裨益する所あらば幸也
▲タフ ト氏シンシンナー市に於て米淸親和說を語る米國の輿論全く玆にあるや明也
▲余に して米國の政策を相應し得るの位置に立たば充分淸國の進步發展に盡さんと

特別廣告

長らく待たせました。此十七日から病院を開きます。廣くコンモリと茂つた森が、南大門通の直ぐ北に高く聳へて見るのが夫れです。名の通り婦人の病氣ばかり診ませぬ。成可く午前中に御出下さい。御事情では施療も致します。日曜は研究の日ですから御許しを願ひたい。



京城北米倉町（元英人ホッジー氏邸）
京城婦人病院
ドクトル メヂチーネ　工藤武城

●美人の末路（一）

若草町三丁目の角を右に折れた左側の所に屋根は崩れ柱は傾き掛りし只ある一軒のいぶせきオンドルあり入口の柱には小形な女の名刺貼られ中川政江と書しあるがいつも家の内は森閑として絶ねて出入りの人とてはなく唯深更人定まるの頃時々女のすゝり泣きの聲聞ふ耳のみなるより近所合壁の誰れ彼れも昨今にては漸く不思議に思ひ噂さの種となり居れるがサテも此の女こそまだうら若き盛りの身ながら世の憂き艱難の數々を嘗めつくし拗ねて浮世を渡つた揚句が今の境遇とはなりたる世にも不幸の身の上なりとは知られたりサテ此より號を逐ふて女の素性を記るさんに元來政江は遠州は駿東郡杵木村字蓮台寺の生れにて父は重平とて代々酒造業を營み居れるが生來至つて温順にて幼ない頃より學問を好みソレに草深き片田舍の育ちにも似合はず目眉容美しい所から兩親の寵愛も一方ならず軈て國の小學校も卒業せしかば昔堅氣の兩親は此より一二年間手側に置き裁縫茶の湯等を習はせ追つけ良縁もあらば嫁入りさせんものをと思ひ居りしも政江は自分の朋輩や知る邊の甲乙が東京の女學校に入學せしを心から恨ましく思ひソレに生來學問好きの性質は却々に兩親の言葉を聞き入れず何うかつても東京に遣つてとの願望頻りにていつかな娘の決心を翻へす由なきを見て取つた兩親は已むなく娘の言葉に從ひ幸ひ親戚の東京女子職業學校へと入學せしめしは今を去る三年以前頃も彌生の春景色正に忍が岡は花笑ひ鳥歌ふの眞最中にてありき

宿年の希望も叶ひて學びの林に踏み入り來ては女ながらも天晴れ社會に名を成さんと雄々しくも決心の臍を固めたる政江は當時尚ほ十七の纎弱き身ながら特勝にも芝高輪なる叔父の家より電車にも乘らず而も暴風降雨をも物かはといとも熱心に一つ橋なる職業學校へ通ひけるが根が負けじ嫌ひの性質なれば忽にして同級生中の才媛と仰がれ教師よりも褒め稱へられつゝありしが總て政江が一學期を了はりて二學期に移らんとする際叔父なる人は不幸にも事業の失敗から一家を疊んで郷里に歸ることゝなりしより政江は痛く落膽せしが之も世の習ひなれば諦め已むなく平素より懇意になし居る友達の秋葉といふものゝ家に寄寓することとなりしが併し之がそも〳〵の過りにて將來政江が怖るべき墮落の淵に足を踏み入るゝに至りし動機とはなりたるなり

●九月の韓國氣候　本日の氣壓は南鮮海岸及極北東部に稍低きも全國を通じて其差僅に一粍に過ぎず風向は區々なれども南西沿岸の地は已に西方に變じ來れり氣溫は最高極と雖も約三十度にして最低極は八度弱を示すに至れり降水量は北部に多く殊に内陸に極めて寡少なりし蒸發量は西海岸の中部及南東海岸相伯仲して最多を示し北部に於ては寔に少し尚ほ是等を既往（四ケ年を云ふ以下同じ）に比すれば氣壓は一般に稍低く氣溫は北部に稍低かりしも其他は殆んど差異なく降水量は南岸及元山附近に減じ其他は孰れも多少の增加を見たり蒸發量は北部に稍減少したるも中部以南は悉く增加を示し仁川地方は約五十粍の過多なりし

●種痘施行　今回左の所に於て韓人種痘を施行す
△中署十七日より十八日迄△北署十九日より二十日迄△西署二十一日より二十二日迄△南署二十三日より二十四日迄△銅峴二十五日より二十六日迄△龍山二十七日より二十八日迄

●腸窒扶斯發生地　漢城衛生會に於て調査せる十月に入りてよりの日本人腸窒扶斯及赤痢患者の發生地左の如し
北署順化坊滑風溪二統十戶男一、古市町鐵道管理局男一、南山町二丁目百二番戶男一、西大門外鐵道管理局男三、女一、明治町三丁目五六男一、北署延德坊長慶橋工業傳習所內男一、建德坊加佐洞二統九戶男一、龍山櫻町男一、龍山鐵道管理局男二、旭町二丁目二三番戶女一、合計十四人△赤痢發生地　美洞統監府官舍一號女一、同二號男一合計二人

●九月迄の流行病者數　一月以來九月迄の傳染病者數は天然痘日本人百五十二人韓人百九十二人窒扶斯日本人六人腸窒扶斯日本人七十六人韓人九人赤痢日本人四十八韓人三人類似虎拉列日本人三人なり

●西本願寺の說教　長谷川町西本願寺にては明日午後七時半より伊藤開教使の說教ある由

●本願寺說教　本日は土曜日に付き午後七時半より例の通り說教あり

●淸國無賴漢漁場を荒す　目下豆滿江鮭魚の好季節に際し淸國人中の無賴漢は名を渾春副都統稅務稽查委員王聚俊に藉り赤色の名刺及び春副都統の稅務に關する訓令の如きものを所持し數人一團となり（其中には淸國兵と稱するもの一名あり）韓國人の建網場へ何時も入相を判別し得ざる頃露國船若くは淸國船を以て該江を渡り來り船一艘に對する稅金として五圓を支拂ふべく要求し若し支拂はざるときは逮捕し淸國兵に引渡す等脅迫を加へ金圓を强奪せんとするのあり最も毎年韓國同地方の漁民は如何なる名義に基くものなるや不明なるも一艘に對し金五圓づゝを春副都統に納付し居るは事實にして彼等惡漢の出沒するも年々豆滿江の漁期にあり現に本年も九月二十三日午後七時頃新乾原を去る東北約一里の漁場に彼等惡漢の出沒ありたりと

●仁川の狂犬　花町二丁目船大工中村勘五郞の飼犬は昨日同家の小兒に噛付き花町通りを京町に出て龍岡町交番所方面に到り韓人二名に噛み付きたる所を同交番の巡査折よく來合はせ直ちに捕へて獸醫に引渡し解剖に附したる結果眞正狂犬と判りたるが同犬が花町より龍岡町に至る間にも通行人に噛み付きたる形跡あるも未だ申出人なき由なるが被害者は直ちに其筋に申出で施療を受くることそ肝要なるべし

商店覗き

▼大上食料雜貨店▲　八間間口の大店舖見るからに商賣の盛大なるを思はしむる商品は標題の如く食料雜貨何品として調ひ居らざるはなし殊に醬油は同店の自慢とする所自製の『龜甲大』は風味却々に好く內地の上等品と比較して優るとも劣ることなしとは專ら主人の鼻に掛くる所なり店員は總勢掛つて二十と六名番頭小僧何れも商賣に拔目なく朝から晩迄草鞋穿ての勉强は實際感心なものなり電話は二百五十一番場所は本町五丁目なり

▼萩原靴店▲　店舖は本町二丁目なり京城靴店の元祖と號すれど開業せしは過ぐる三十五年十一月頃と覺え居れば元祖といふよりも親玉といふ方が聞ねよし店の飾り付けは却々巧に通行人をして素見ながらにも覺ねず足を踏み入らしむるは顧客吸引策上流石は慣れたものなり職工は何れも一粒撰りの腕利き揃ひ迅速、丁寧、堅牢は勿論の事ソレに價格も比較的低廉なり店主の活動見るからにキビ〳〵しく平素自轉車での注文取りは噸々多忙なことなるべし目下景品附賣出中の由

●不埒なる官吏　何うも此の官吏といふ奴は一般に倨傲尊大の風があるから困る移民地などへ來て居るものは特に人に對して叮嚀に常に職場の態度を持して貰ひたいものだ之はホンの其の一例に過ぎぬが現に昨朝午前八時半頃農商工部の金筋某が（名は知つて居るが秘し置く）同部の前で自分を曳き居る車夫が山の如き荷物を脊負ひ居れる擔夫をヤッコ除けと許りに突き倒し其のまゝ風を切つて通り過ぎて了つたが可愛相にも右の擔夫は荷物を散々ヒックリ返へされソレに足部に擦過傷を負ふたが[illegible]てさも怨めしさうに遠く走り行く車上の金筋の後姿を眺め居りたりし實際氣の毒也き

●無駄な金は使へない　度支部の高等官中で一際羽振りの良い某といふは國元には妻子のある身ながら一人寢の閨淋しきまゝに此れ迄も怪しき女と關係をつけ其の度毎に少なからぬ金を絞り取られしこと一度二度ではなかりしがサテ最後に目星を附けたのは元旭町三丁目に例の怪しげなる行燈を點したる新玉とかいへる小料理屋に酌婦奉公を爲し居りしウメといふ丸ポチャなるが其の後ウメは店が廢業せし故旦那に迫つてオントルに閑つても、一四至り旦那の言ふには竈を二つにして居ては不經濟でもあるし尚に思ふやうに樂めぬといふ所から今度は堂々と娑婆に乘り出し本町一丁目と三丁目の間なる某商店の二階を借り受け新世帶を持ちしとかそして其の際旦那は身仕度金として七十圓の大金をウメに與へたるが旦那の胸では月々七八圓の金で此の通り妾が圍へるなら全く無駄な金は使へないと思ひ居る由

●素人女は地獄谷出　或る役人が近頃待合の評判しきより如何なる處かと好奇心に二人づれ二三日の夜八時頃旭町一丁目の住の家に行きたる好き鳥もがなと首を長くして待居たる山口縣生れの何のとサ（二八）といふ仲居が飛んで出て愛嬌のありつ丈を振り撒き先づ此方へと一室に通したれば二人は早速別嬪をと命ぜしかばとサはれ世話致します旭町第一銀行舍宅に居る素人女をと伴れて來ますすとて出行きたれば二人は歡ひしながら片唾を呑んで待ち居りたるにやがて仲居に導かれ今晩はと優しき聲して現はれ出たるを見れば素人娘とは眞赤の嘘にて實は俗稱地獄谷旭町一丁目にある淫賣屋の賣春婦なりしかば二人は只呆氣に取られて開いた口も閉がらざりしと待合に行く人達は注意せんと鼻が落ちますよ

●別府溫泉の開業　先般來より新築中なりし本町七丁目別府溫泉は斯程工事落成し諸般の設備も全く整ひたるを以て原料を本場なる別府に仰ぎ開業したる由完全なる藥湯溫泉に乏しき當地にては定めし一般の好評を博するならん因に湯錢の四錢は一般に苦痛を感ずる處なれば場主は大々的奮發し一名金三錢にて入浴せしむる由

●岡野牧場の牛乳　今回東四軒町に開業せる岡野牧場の牛乳は同牧場にて飼養せるエーアシャ及びホルスタイン兩種の乳牛は韓國には始ての輸入牛にて從來の乳牛に比すれば頗る滋養分に富み居る由殊に同場にて使用する瀛熱消毒器の如き同場が韓國輸入の嚆矢なりと

同可娛欄（十五）　魚友痴史

●狂歌
▲神嘗祭
天地の惠みに茂る民草の伏して捧ぐる今日の新米
此秋は殊に收穫も大神の御德仰ぎて初つ穗供へん

（平）●（民）●（文）●（庫）●

記者さん小生は再三再四投書するのになぜ掲載して呉れません（山本生）▲君の投書は依估贔負ありと認めたるにより採用せぬのです（小僧取締）▲紅葉地下の人となり眉山續いて永眠す明治文壇頓に枯れ野原の觀あり（文學士）▲韓人車夫の斷髮甚だ結構然しながら黑白は即ちブチに類す可笑（井東博蚊）▲山寺の小僧君よ頃日の月を如何に詠む（安泰寺）▲出て見れば何處も同じ秋の月（山寺小僧）▲たさん公言して曰く妾れこそ近きうちに北の方となる人なり（丸髷生）▲市中の水を撒くゝ爲めに獄人を使用しては如何（其筋の目玉）▲吾れ又方今劣るなきの英雄なるかな君知るや否や（色男）▲煩悶の人よ吾れはエスクリストなり愛する吾が子等よ南山の松樹の下に來れ（式部の親玉）▲花月の房子嘆じて曰く貴郞又酒黨なの噫々（隣室半眠）▲看花眠石嗚呼此人雄大哉（山夫子）▲電車の改築をしては如何（十年居住）▲近來のビールは飮み心地が甚惡し（待合客）▲余輩今日より男色服業致候過去現在未來の辱知諸君に謹告す（田舍議員）▲小生近來鼻の病みに苦るしむ實に花子君を恨む（今日ノ生）

●巷のいろ〳〵●

◉徵兵適齡者の罰金　京都府平民龍山老松町山崎門之介（二十一）石川縣平民龍山元町三丁目上田方中川小三郞（六十）の兩人は何れも徵兵適齡なるにも拘はらず寄留屆を出し居らざる爲め各々一圓の罰金に處せらる

◉貼紙して三十錢　明治町一丁目六十五番地質商大庭榮三郞（二十八）は去る十日午前十一時頃明治町佛蘭西敎會堂の塀に蒲團大安賣の貼紙を爲し三十錢の科料に處せらる

◉自轉車の衝突　大和町一丁目平山牛乳搾取所配達人山口淸三郞（十八）と本町六丁目大澤支店々員金漢俊は一昨日午後三時頃双方より自轉車を驅つて泥峴一丁目の處に來りしが端なくも衝突し山口の自轉車は破損せしより警官の手を煩はし結局金より損害代を取ることゝなしたり

◉窃盜未遂　一昨日午後二時大和町二丁目百六十八番戶度支部官吏今岡美成方へ十七八才の韓人裏手の錠を破壞して忍び入り何物かを窃まんとウロ〳〵して居る所を隣家の太田某なるものに認められ警察署へ突き出されたり

◉「糞あり」「糞なし」の貼紙　近頃韓人町を通ると「糞あり」とか「糞なし」とかの貼紙をして警官に掃除方の注意を促し居れるが元より之は警察よりの命令だそウなるが洵に不體裁だといふもの多し

●天氣豫報（自十六日午後六時至十七日午後六時）
晴れ
十六日午前六時各地氣象概況
昨朝東海に來りし低氣壓は僅に南韓地方に影響せしのみにて日本海に去り今朝は高氣壓の蔽ふ所となり區々の風吹き北韓曇天外は晴天なり

落語

一ツ穴（六）

橘屋圓喬口演

旦「オヤ珍らしいや彼奴が返事を爲たョ雨が降なきやア好いが…支度を爲ナョ供だョ

權「疾うにハア支度が出來て尻い端折て待てるだヨすア行くべい

旦「穿物を出しなョ

權「穿物は出て居り升

旦「冷飯草履ぢやア無へか

權「へゝゝ此品ア乃公んだつた

旦「白痴奴何時私が冷飯草履を穿て用達に出たい自分のと主人のと間違へる奴があるもんか

權「出たすア……歩行べ

旦「主人を捕めへて歩行べと云ふ奴が有るもんか

權「然んな事を云つちやア不可ねへ

旦「往て來るョ

權「往て入らつしやいまし……權助頼むョ

旦「へエ宜しうがアス

權「戸外へ出まして

旦「權助家に居ると氣が朽て不可ねへなア戸外をブラッカ〳〵爲て歩く方が好うすアなア、今日は何處へ行くんで……

旦「是から本所の川田さんへ往て夫れから木場へ廻るんだが…斯う爲ねへな川田さんへ送り込んだら直に歸んねへ

權「何處い……

旦「家へ歸んねへ

權「ナーニ歸らねへでも好いだ是非に行くべい

旦「行なくつても好いョ

權「然んな事を云はねへもんだ行くべいョ

旦「家に何か用があると不可ねへ

權「ナーニ、モー水ウ汲んで米も磨で仕舞つたいョ薪も割ちまつたし何んにも用は無いだ

旦「だけれどもノーオイ何か亦……然麼てへな歸んねへョ乃公が云ふんだから歸んな

權「だけれどもノー

旦「亦强情張てるな

權「强情ぢやア無へ能く聞つせへ、家を出る時に内儀樣ア何んと云ひやした權助貴樣ひョと斯う云つたいシテ見ると旦那の身體を今日一日俺が頼まれて居るだ人間ちう者は今身體が壯健でも老少不定何時行倒れに成らねへとも限らねへテ

旦「縁喜が惡いョ尾て歩くてへなら勝手に歩きねへな其代り木場から直に家へ歸らねへョ京橋から品川へ行て四谷から麹町へ往て下谷から淺草へ行くよ

權「夫れぢやア東京中荒方歩くんだ、俺は歩くが和郎樣ア歩けめへ

旦「車へ乗るから和郎跡から追掛けて來ね

權「訳け知らねへ事を云ふもんぢやア無ねへ……の違へた合點で行くべー

●新聞料 一枚金二錢 一ヶ月前金卅五錢 ●廣告料 …

發行兼編輯人 秋山忠三郎

印刷人 高木久馬太

發行所 京城新聞社